

長野信用金庫は2023年9月1日に 創立100周年を迎えます

これからも、
ずっといっしょに、
このまちで



100周年ロゴマークは、北信15市町村の名物や名所で構成したハートで「地域への感謝」を、カラフルな色彩で「北信の豊かさ」を表現しています。

長野信用金庫の概要

(2022年9月30日現在)

創 立：1923(大正12)年9月1日
本店所在地：〒380-8686
長野県長野市居町133番地1
店 舗 数：38本支店
店舗外ATM23カ所
常勤役員数：572名
会 員 数：60,837名



本店・本部

インターネットホームページ：<http://www.nagano-shinkin.jp/>
当パンフレットのお問い合わせ先：
長野信用金庫 総合企画部 電話：026-228-0221(代表)

本誌に記載の比率および金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

2022年度上半期トピックス

長野しんきんビジネスフェアを 3年ぶりに開催



5月11日に「第19回長野しんきんビジネスフェア2022」をビッグハットで開催しました。3年ぶりの開催となった同フェアには162社・団体が出展し、約1500人が来場したほか、地元の大学生・短大生・高校生およそ250名が企業ブースを訪れて事業者から話を聞きました。



また、5月17日から19日にかけて「しんきん商談セッションオンライン商談会3Days」を開催しました。

フェア当日の商談件数は316件、今年度の商談成約件数は174件、第1回からのビジネスマッチング件数は2,086件となっています。

創立100周年記念事業

高校生向け金融リテラシー講座



当金庫創立100周年記念の地域貢献事業として、長野工業高等学校2年生約240名を対象に「金融リテラシー講座(全4回)」を企画し、9月に第1回学習編と第2回実践編の2講座を開催しました。学習編では当金庫職員が金融知識について、実践編では企業経営者が事業の内容や経営について講義を行いました。10月にも2回開講します。



創立100周年記念事業

クーポン付街歩きガイドブック



コロナ禍の影響を受けている地域経済に少しでもお役に立てればという思いで、北信地区のさまざまな業種のお店や施設情報を紹介するクーポン付「しんきん街歩きガイドブック」を制作しました。

本ガイドブックは、当金庫で年金を受給、もしくは予約しているお客さまを対象にお配りしました。



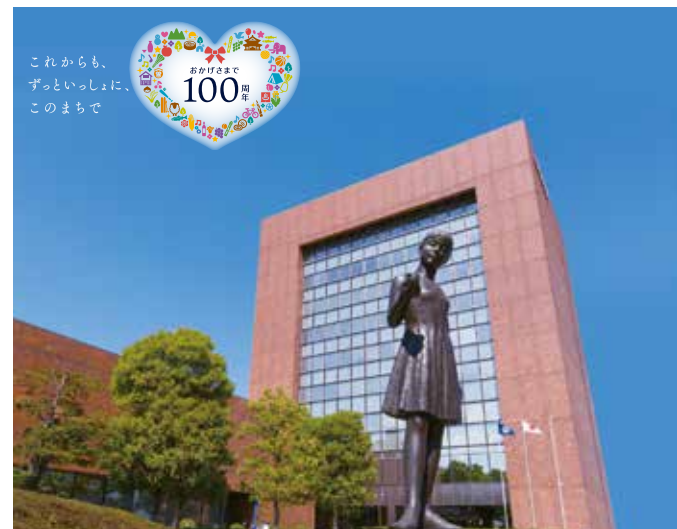
創立100周年記念事業

「電話でお金詐欺」被害防止 卓上スタンド



「電話でお金詐欺(特殊詐欺)」被害を未然防止するために役立てていただくため、長野県警察と協力して啓発用の卓上スタンドを制作しました。

9月1日から1年間、当金庫で年金を受給されているお客さまに、誕生日プレゼントとともに渉外担当者がお届けします。



▲現在の本店

しんきん 2022 2022年度上半期のご報告 (2022年4月1日～2022年9月30日) 上半期レポート



▲創業40周年で新築

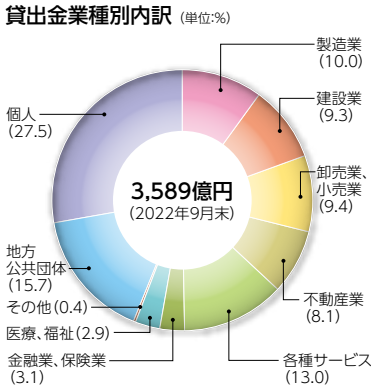
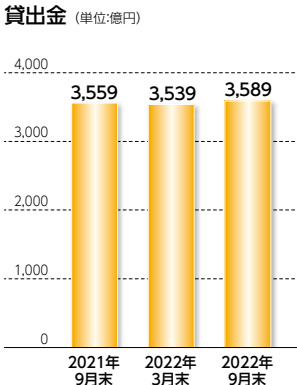
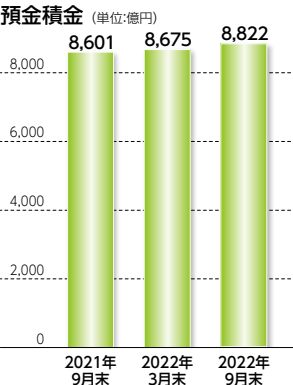


▲昭和32年ごろの本店

■ 預金積金と貸出金

2022年9月末の預金積金は、個人・法人ともに流動性預金が増加したこと
から、2022年3月末比146億17百万
円増加して8,822億14百万円となりま
した。

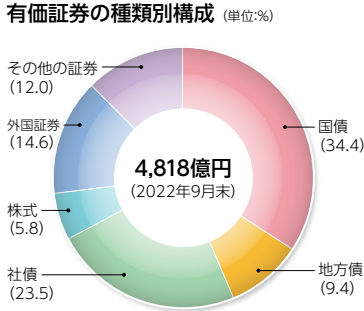
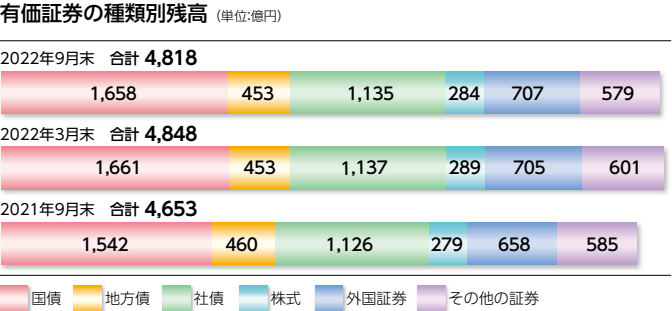
貸出金は、事業性融資や住宅関連融
資の増加により、2022年3月末比50
億40百万円増加の3,589億60百万円
となりました。



■ 有価証券

みなさまからお預かりした大切な預
金積金は、貸出金のほかに国債・社債等
の有価証券でも運用しています。当金
庫は運用にあたり、安全性を重視した
方針を堅持しています。

2022年9月末の有価証券は、2022
年3月末比29億81百万円減少して
4,818億61百万円となりました。



有価証券の時価情報

売買目的有価証券 (単位:百万円)

2022年3月末		2022年9月末	
貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
—	—	—	—

満期保有目的の債券 (単位:百万円)

	2022年3月末			2022年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	6,648	6,714	66	5,729	5,780	51
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,000	999	△0	2,150	2,146	△3
合計	7,648	7,713	65	7,879	7,926	47

(注) 時価は、決算日における市場価格等に基づいております。

売買目的有価証券:時価の変動により利益を得ることを目的とし、短期間保有する有価証券です。
満期保有目的の債券:社債などのように満期まで長期保有する債券です(株式は含みません)。一定の期
間ごとの利息を得ることを目的に保有し、満期に額面で償還される債券です。
その他有価証券:上記2つおよび「子会社・関連会社株式」に分類できない有価証券です。

その他有価証券 (単位:百万円)

	種類	2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	24,722	13,600	11,121	25,608	15,323	10,285
	債券	201,086	194,532	6,553	145,606	140,708	4,897
	その他	101,972	87,274	14,698	92,953	76,411	16,541
	小計	327,781	295,407	32,373	264,168	232,443	31,724
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	4,033	4,525	△491	2,641	3,037	△396
	債券	116,499	119,159	△2,660	171,198	178,574	△7,376
	その他	28,723	29,966	△1,243	35,817	40,511	△4,693
	小計	149,256	153,652	△4,395	209,657	222,124	△12,466
合計		477,037	449,059	27,977	473,825	454,567	19,257

(注) 貸借対照表計上額は、決算日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

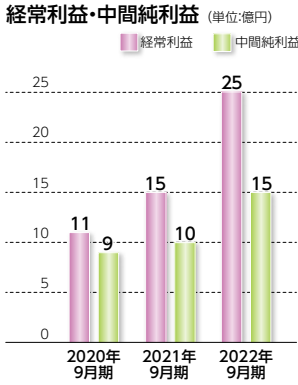
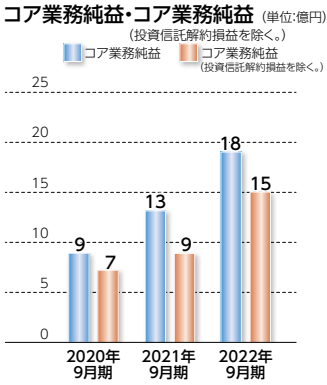
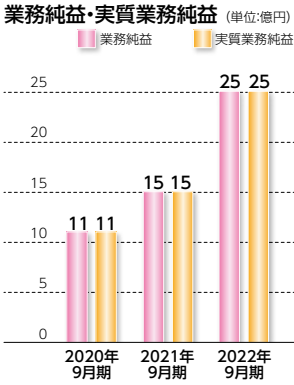
市場価格のない株式等 (単位:百万円)

内 容	2022年3月末	2022年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	146	146
信金中央金庫出資金	4,052	4,052

■ 収益

マイナス金利の環境下ではあります
が、有価証券利息配当金や国債等債券
売却益の増加、経費縮減などから、業
務純益は前年同期比10億56百万円増
加して25億64百万円となりました。

業務純益の増加により経常利益は
前年同期比10億21百万円増加し、中
間純利益は前年同期比4億80百万円
増加して15億38百万円となりました。

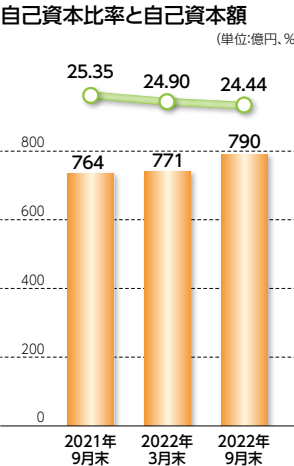


■ 自己資本比率

自己資本比率は、信用リスク・アセッ
ト(リスクがある資産)等に対して自己
資本がどれくらいあるかを示す指標
で、金融機関の健全性・安全性をみる重
要な指標の一つです。国内業務を行う
金融機関には4%以上の自己資本比率
が求められています。

2022年9月末の自己資本比率は
24.44%であり、引き続き高水準の自己
資本比率を維持しています。

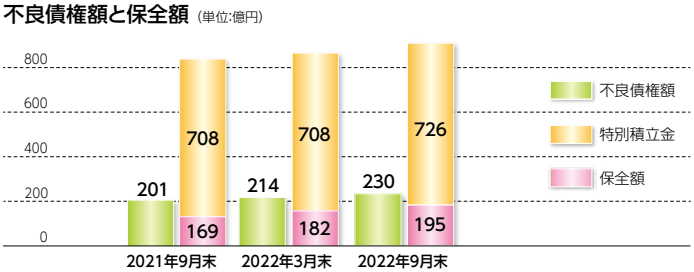
また、リスクの備えとしての自己資本
額は2022年3月末比18億50百万円
増加し、790億25百万円となりました。
そのほとんどがみなさまからの出資金
と特別積立金であり、自己資本の質は
良好な水準にあります。



■ 不良債権 (信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権)

新型コロナウイルス感染症の常態化・原材料価格の高騰等が、地
域経済に大きな影響を及ぼしている状況です。企業再生支援と不
良債権の抑制に努めましたが、開示債権額は2022年3月末比15億
81百万円増加して230億64百万円となり、総与信残高に占める割
合も0.35ポイント増加して6.37%となりました。

このうち、担保や保証、貸倒引当金などにより195億90百万円が
保全されておりま。また、未保全額は34億74百万円になります
が、特別積立金726億47百万円により十分にカバーされています。



不良債権額 (単位:百万円)

区分	2022年3月末	2022年9月末
	残高	残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,249	1,255
危険債権	19,835	21,212
要管理債権	398	596
合計	21,483	23,064
正常債権	335,256	338,734
総与信残高	356,739	361,799